

私が障害福祉サービス事業で 働くようになった訳



障害福祉サービス事業所で働く前

私は実家が幼稚園であることから、幼いころから幼稚園教諭になることが夢でした。そのため、聖徳大学に進学し、児童文化コースを学びました。入学時はコロナ禍であったため、2年生までオンライン授業でした。3年生から通常授業となり、保育に関する知識やピアノ、伝承遊び、製作など、保育技術を身に付けました。実習を重ねる中で、最も印象深かったのが地元栃木での障害

者施設実習でした。原木を力強く運ぶ姿や、優しく話しかけてくれる方が多く、最終日にはお手紙を書いて渡してくれる方がいました。自分の価値観や視野が広がる充実した実習でした。多様性が認められていく時代で、将来自分に何ができるのか、今何が足りないのかを考えた時に、障害についてより一層学びを深めたいと思いました。就職活動でにじいろを見学した際に元気な子どもたち、そして笑顔あふれる職員の皆さんの様子から私にもにじいろの職員の一員として学んでいきたいと強く思い就職試験を受けました。



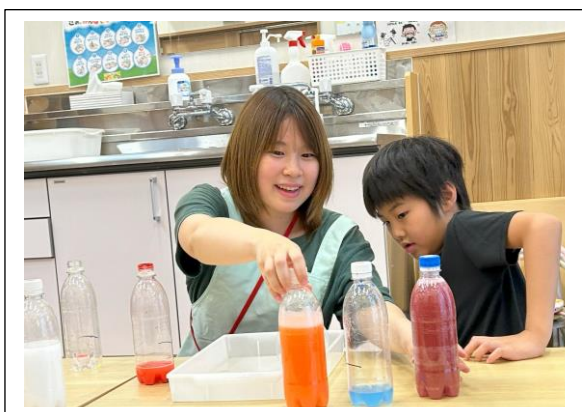
働き始めると

にじいろに配属されてから障害児への支援経験を重ね、障害の知識や支援の方法を日々学んでいます。初めは戸惑いや不安がありましたが、先輩職員から優しく助言をいただき、試しにやってみることで徐々に自分に自信がついてきたように感じています。日々の活動は楽しく、やってみたい活動を先輩職員に相談しながら行っています。子どもたちが喜んでくれるかな？楽しいかな？と考えながら試行錯誤していますが、その悩みは嬉しい悩みです。やりたいことを実践でき、子どもたちの絵顔につながっていることをとても嬉しく思っています。



これからの私

障害についての知識がまだ浅い面があるため、子どもたちと関わりながら特性を学び、研修を受講し、実践して知識と経験を増やし、身に付けていきたいです。また、笑顔を絶やさず、楽しく元気に子どもたちと一緒に過ごしていく中で信頼関係を築いていきたいと思います。活動や自分の支援方法に対し、現状で満足するのではなく、ステップアップしていきたいです。できることを増やし、より良い支援につなげて子どもたちの健やかな成長を後押ししていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



所属部署 上司からのひとこと

新卒としてにじいろに配属されて以来、少しずつ経験を積みながら成長している姿が印象的です。初めは支援方法に戸惑うこともあったかもしれませんが、鈴木さんの積極性と子どもたちとの関わりに対する真摯な姿勢には感心します。障害児支援には理解や共感が不可欠です。そして子どもたち一人一人の特性を理解し、その特性を尊重しながら支援を行うことが何より大切ですが、鈴木さんはこの大切な事を実践しようとしている姿があります。子どもの気持ちを丁寧に受け止め、彼らの「やりたいこと」を優先するにはどうしたらいいのか考えています。すぐに子どもたちと仲良くなり、彼らの気持ちに寄り添うことができる鈴木さんの力は、これからも大きな財産となるはずです。鈴木さんのひまわりのような明るい笑顔は、子どもたちだけでなく、職員にも元気を与えてくれています。そんな姿を見るたびに、私たちも励まされます。これからは、障害児支援の知識や技術を学び、さらなるスキルアップを目指してください。また、同期の安井さんとも一緒に活動することで、互いに学び合い、刺激し合いながらの成長を期待しています。私たちの目指すべきは、子どもたちが笑顔で成長できる環境を共に作り上げることです。鈴木さんの明るさと情熱が、その実現に大いに活躍できることを信じています。あなたの成長に期待し、これからもサポートさせていただきますので、一緒に頑張りましょう。これからもよろしくお願いいたします。

にじいろ管理者・サービス管理責任者 齋藤真知子

名前 鈴木 榛香 (すずき はるか) 平成13年生まれ

令和6年4月 社会福祉法人健翔会へ入職

入職後、健翔会の運営する放課後等デイサービス にじいろに配属される

健翔会 にじいろ 所在地：行田市谷郷2-16-26 電話：048-598-7898